

最上川舟運で行き交うモノと文化・くらし ー民俗学の観点からー

2024

6月22日 **土**

13:30 ~ 15:30

山形県立博物館 講堂

★事前申込制

申込期間 6/4 (火) ~ 6/13 (金)

お申し込みは右下QRまたはHPから

入館料が別途必要です



講師

菊地和博氏

東北文教大学人間科学部
特任教授

山形県を流れる最上川は江戸時代から舟運が発達し、日本海海運と連結して特産品の紅花や青苧（あおそ）などの物資運搬が活発に行われました。このため、出羽国山形は上方方面や航路沿いの各地と経済的繋がりが生まれ、モノと文化が行き交い、当地にも様々な文物がもたらされました。また航行安全への祈願は様々な信仰遺産も生み出しました。それらは今でも山形県の特色ある歴史民俗を形成する要因となっています。

特別展関連行事 (予定) ※詳しくは今後当館HP・SNS等でお知らせいたします。

●記念講演会② 7/27 (土) 「河川絵図に描かれた最上川の水運(仮題)」講師 小野寺淳氏 (事前申込制)

●展示解説会 6/1 (土)、7/6 (土)、8/3 (土) 各回13:00~13:30

●記念イベント 8/4 (日) 紅花と青苧を使ったアクセサリーづくり (協力:山形県立村山産業高校 課題研究 草花班)

お問い合わせ：山形県立博物館 講座担当係 TEL：023 - 645 - 1111